

第3回米沢市立中学校校名検討委員会 会議録（要点筆記）

1 日 時 令和5年10月17日（火）18時25分～18時55分

2 場 所 置賜総合文化センター 301研修室

3 出席者 (1) 委員 8名

(2) 事務局 教育管理部長 森谷 幸彦
教育指導部長 山口 玲子
学校教育課長 植木 修
学校教育課 適正規模・適正配置推進主幹 森谷 純
学校教育課 適正規模・適正配置推進室長 柴倉 和典
学校教育課 主事 渡邊 亮

4 内 容

- (1) 開会
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 協議
 - ①校名案の選定について
 - ②その他
- (4) その他
- (5) 閉会

(3) 協議について

(委員長) それでは、(1)と(2)まとめて事務局から説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(委員長) 各委員から質問等があればお出してください。

《 質問等なし 》

(委員長) 本日の会議で校名候補の最終決定ということですので、これまでの経緯もありますが、委員の皆様から今の思いなどをお話いただきながら、どちらの校名候補が良いかをお伺いしたいと思います。

(委 員) シンプルな校名案1もよいと感じますが、校名案2の「成」という字をつけることも米沢らしさがあると感じています。略称になったときにどう呼ぶのか難しいところもあるような気がしますが、校名案2を推したいと思います。

(委 員) 1番の南、北、東は一般的な言葉ですし、非常にシンプルで落ち着きもあってわかりやすいと感じました。ただ、前回の会議で出されたように制服などと同じように米沢市の学校として共通するものを組み合わせるという話は、大変、共感いたしました。どこにでもある南、北、東よりは、「成」をつけて「南成、北成、東成」とすると、成長の「成」などの意味も込められて2番の方が良いと思います。

- (委員) 先日、米沢鶴城高校の名前が決まり、その名前が周りで評判が良く、中学校もこの調子で良い名前をつけてくれというような無言の圧力を感じて過ごしてきました。シンプルな方角だけではなく、米沢らしさが出るような名前の方がいいと考えまして、私としては2番かなという思いでいたところです。
- (委員) 私も2番を推したいと思います。米沢市立南成中学校、北成中学校、東成中学校という、「成る」、「成功する」というところがいいかなと思っております。
- (委員) 1番は、方角で一文字、非常に簡単に言えていいかなと思いましたが、2番は、二文字で「成」の字が繋がっているので、こちらの方が意味深いものがあるかなと思いました。ただ、初めて見た人は、「南成、北成、東成」と聞いたときに、方角と成がどういう繋がりをして、どういう意味を持つのかという疑問が出てくると思うので、そこをはっきりさせればいいかなと思いました。結論的には2番を推したいと思います。
- (委員) 私も2番が良いと思います。前回も申し上げたとおり、各中学校に共通した言葉が一文字入っているところがオール米沢の1つかなと思います。その言葉の意味に「為せば成る」の「成」、米沢のスピリットで非常に重要な言葉かなと思います。これは中学生の子ども達に浸透する意味になると思いますので、この名前に込めた意味は十分に伝わるかなと思います。方角だけではなく、成るという言葉も込めた「南成中、北成中、東成中」は、意味のある名前だと思いますので、2番を推したいと思います。
- (委員) 1番は、とてもシンプルでいいかなと思いますが、皆様からお話があったとおり、「成」という字は成長の「成」であったり、為せば成るの「成」ということで、すごく米沢にとっては浸透しやすいのではないかなと思いましたので、2番を推したいと思います。
- (委員長) 最後に私も皆様と同じです。特に印刷して活字になった場合に見た目にもいいかなと思いました。また、米沢鶴城高校の名前が決まって、中学校も何にすればいいのか悩みましたけれども、こうして見ると遜色がないというか、こちらの方がいいのではないかと見えてきましたので、2番の方がいいかなと思っています。
- それでは、委員の満場一致ということで、2番に決定させていただいてもよろしいでしょうか。
- (委員長) それでは、今後いろいろな場面で校名を発信していくにあたって、この校名にどのような意味を込めているかということを整理するため、専門的な見地からお話を伺いたいと思います。前回もご説明いただきましたが、改めて、「為せば成る」の「成」は、成長の「成」という漢字を使っても良いのでしょうかというところから、お聞きしたいと思います。
- (委員) 前回もお話しましたが、上杉博物館で所蔵している国宝上杉家文書の中に、これは、鷹山公の自筆と見られておりますが、そこに書かれている「為せば成る」

の字は成功の「成」を使っています。そういう意味では、「成」というこの漢字で何ら問題はないと思います。校名の由来の1つにさせていただいても、結びつけていただくことに問題はないと思います。

(委員長) ありがとうございます。その他に、この名前にはこのような意味を感じられる、こんなことで推薦できるというようなことはないでしょうか。

(委員) 「成」ということで、まだ小学校や中学校のお子さんは何もなっていないとか、まだ何になるかわからない状態だと思います。それが、何者かになっていく段階だということを考えると、自分というものを確立していくとか、自我が目覚めて、自立していくという意味で、「成」という部分を小中学生をはじめ高校生も含めて、大人に成る前の成るところが非常に良い言葉だと思ったところです。「自分は何者かに成る」というような意気込みや決意を感じるような字だと私なりに解釈しています。

(委員長) 義務教育を終えて羽ばたいていくわけですから、中学校で何者かに成るということだと思いました。ありがとうございます。

他に御意見等ございませんか。なければ、以上をもちまして、本検討委員会としての協議を終了させていただきます。委員の皆様、誠にありがとうございました。